



環境リスクコミュニケーション

Denka

Possibility
of
chemistry

2025年2月6日
デンカ株式会社 青海工場
環境保安課

- 青海工場の紹介
- 環境への取り組み
- 地域貢献活動

- 青海工場の紹介
- 環境への取り組み
- 地域貢献活動

- ・ 設 立：1921年（大正10年）
- ・ 工場用地：385万m²（116万坪）



- ・ 自社開拓した石灰石鉱山を有している。
⇒ 豊富な資源に恵まれている。



- ・クリーンなエネルギーである自家水力発電所を有する。
⇒ 豊富な工業用水を確保。



大網発電所 取水堰堤

青海工場の製品紹介

■概要

- ・カーバイドは、水と反応させるとアセチレンガスを発生するという特徴があります。
- ・このアセチレンガスは、溶接・切断ガスに使用されるほか、有機合成製品の原料として使われます。

■特長

- ・当社は、自社鉱山の豊富な石灰資源を利用し、国内の約90%のカーバイドを生産しています。
- ・自社でも原料として使用するほか、高品位のカーバイドを選別して販売しております。

■用途

- ・アセチレンガス発生原料
- ・鉄鋼脱硫剤
- ・石灰窒素原料
- ・有機合成用



■概要

- ・石灰窒素は、石灰石を原料とするカーバイドに高温で窒素を吸収化合させて製造する窒素質肥料です。
- ・30種類以上の試験を実施し、農薬取締法に基づき厳正な検査を受けて農薬としても登録されています。
- ・主成分のカルシウムシアナミドは農薬効果(殺虫、除草、殺菌)を発揮した後、土壤中で肥料成分に分解され残留性がなく、安心してお使いいただけます。

■特長

- ・土壌から流亡しにくい。
- ・緩効性を示し、施肥回数・施肥量の軽減が図れる。
- ・土壌の酸度矯正が図れる。
- ・有機物の腐熟を促進し、ふかふかの土づくりができる。

■用途

- ・肥料として、作物の収量・品質の向上が図れます。
- ・農薬として、袋裏面の「適用病害虫と雑草」の範囲で効果が得られます。
- ・腐熟促進として、稲ワラ・麦稈のすきこみにお使いください。
- ・土づくりに土壌の酸性度矯正が図れます。



■概要

- ・デンカ アルセンは、結晶質アルミナ短繊維（アルミナファイバー）です。
- ・アルミナ、シリカを主成分とするアルミナ繊維は、鉄鋼、金属、セラミックス、自動車などの幅広い分野で高温用耐火断熱材として使用されております。

■特長

- ・最高使用温度は、1,500～1,700℃
- ・アルミナ分（72%～97%）が高く化学特性に優れている。
- ・繊維になりきれない非繊維状粒子である「ショット」が非常に少ない製品。

■用途

- ・鉄鋼やセラミックスの製造などに用いられる、加熱炉・焼成炉などの工業炉のライニング材、シール材、パッキング材。
- ・耐熱性や強度に優れた、耐火断熱ボードや真空成形による成形品の原料軽量キャストブルの原料。



■概要

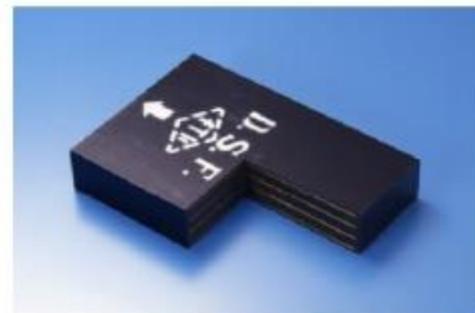
- ・クロロプレンゴムは、天然ゴムや他の合成ゴムと比べて優れた特性を有し、様々な用途に使用されています。
- ・当社では特殊な変性タイプの他に、手袋や接着剤の水性化に最適なラテックスなど広範なグレードを取り揃え、ニーズにお応えしております。

■特長

熱・オゾン・油・火炎などの外的環境要因への耐性ととも、物性バランスに非常に優れる合成ゴムです。

■用途

自動車部品、ベルト、ホース、電線、ウェットスーツ、接着剤、ゴム手袋など、幅広い用途に展開されています。



■概要

- ・ CO₂を固定化する特長を持つ炭酸化混和剤です。
- ・ CO₂と積極的に反応/固定化させることで、化学的に安定した炭酸カルシウムを生成します。
- ・ また、原料に副生消石灰を利用することで「LEAF」を製造する際のCO₂排出量を削減しています。「LEAF」を混和したコンクリートの強制炭酸化を通じて、コンクリート製造過程でのCO₂排出量削減に貢献しています。



■概要

デンカポバール®（ポリビニルアルコール）は、水溶性の合成樹脂で、国内外で広く利用されています。

■特長

- ・水溶性 : 水に溶解
- ・耐油性 : 水以外の有機溶剤にはほとんど不要
- ・接着性 : 水溶液は透明で、紙・木材などセルロース系物質などに強く接着
- ・乳化性 : 界面活性能があり、水の表面張力を小さい

■用途

- ・繊維用糊剤、紙加工、乳化分散剤、
接着剤、結合剤、フィルムなど



■概要

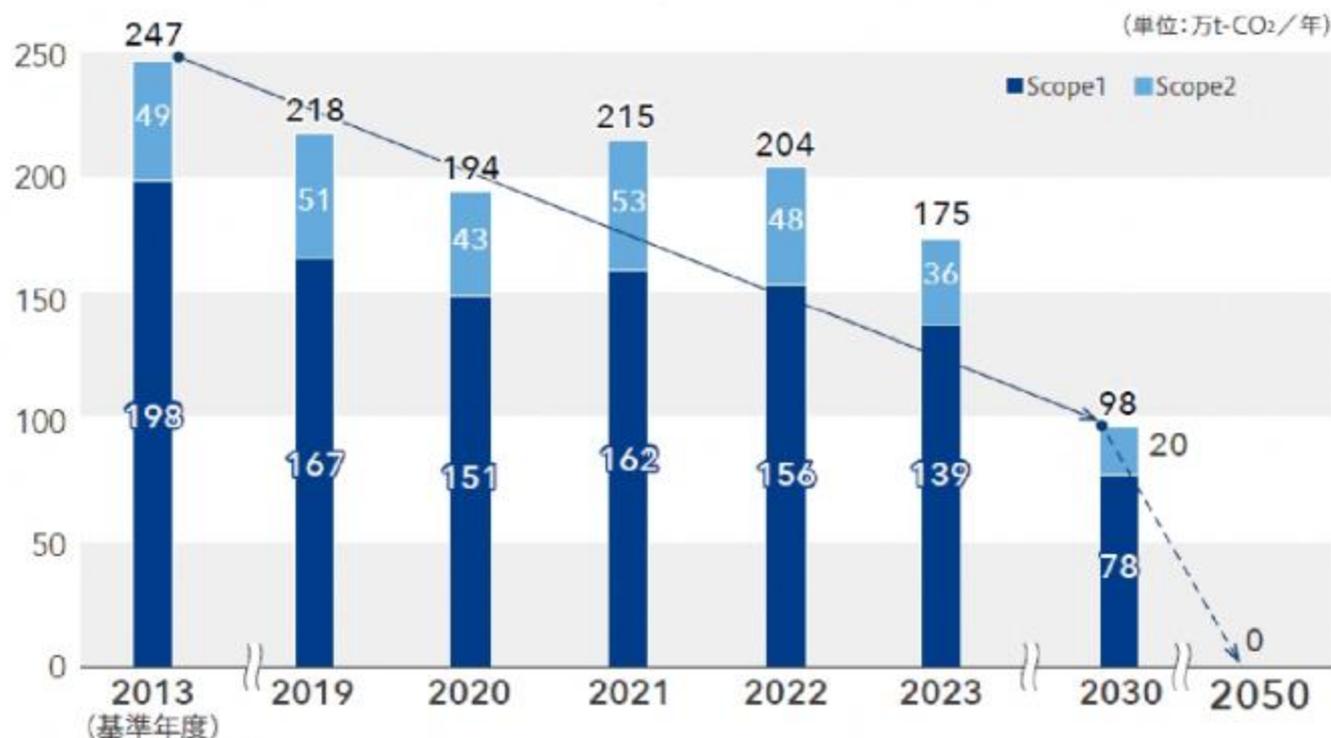
- ・ 1987年、フランスのエア・リキード社との合併により、デナールシラン(株)が設立されました。
- ・ 同社が生産するモノシラン (SiH_4) は、シリコン半導体・液晶TFT・感光ドラム、太陽電池などの製造に幅広く用いられている材料ガスで、エレクトロニクス産業には欠かすことのできない存在となっています。



- 青海工場の紹介
- **環境への取り組み**
- 地域貢献活動

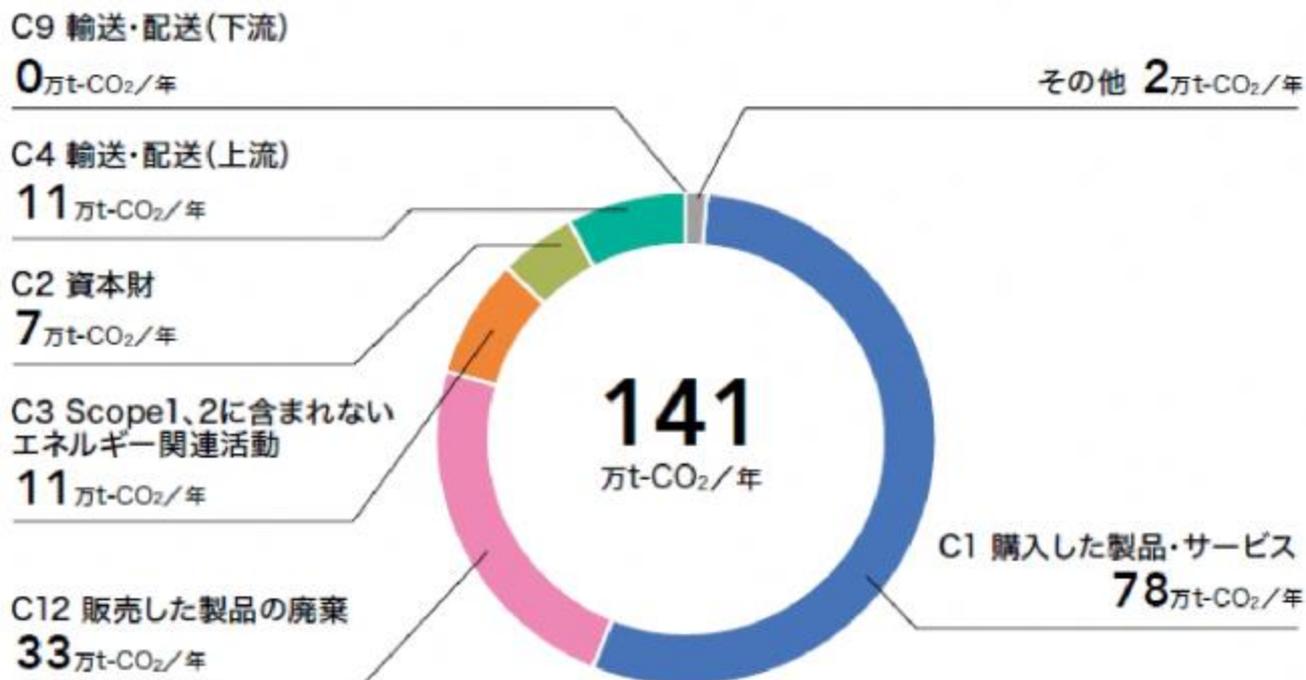
- ・ 当社は、自身の活動で直接の削減が可能である、自社排出分に係るCO₂排出量について、2050年のカーボンニュートラルを目指しています。

温室効果ガス排出量削減の中長期目標 (Scope1+2)



サプライチェーンのCO₂削減（Scope3）削減に向け、取引先や地方自治体との連携を積極的におこないます。

バリューチェーンに係る温室効果ガス排出量の現状 (Scope3/2023年度)



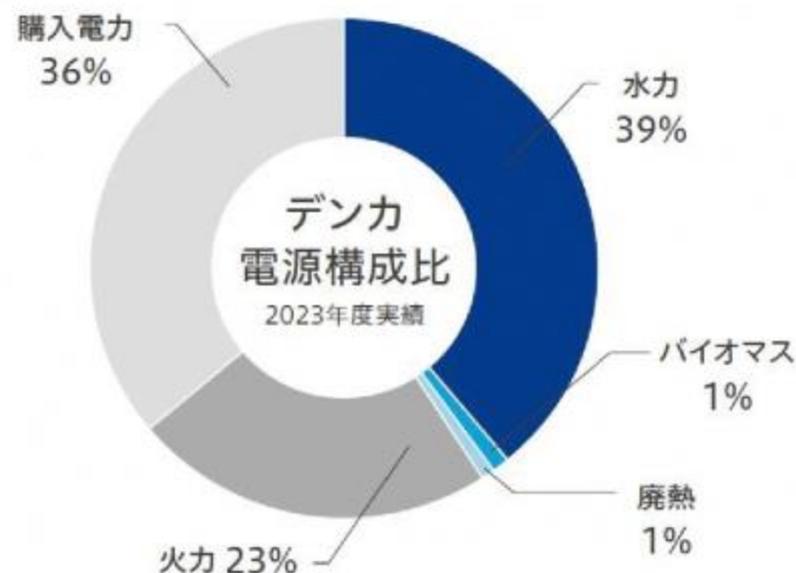
- ・デンカは109年にわたって再生可能エネルギーの利用に取り組んでいます。水力発電を中心とした再生可能エネルギーを「つくる技術」と、最大限に化学のモノづくりに生かす「つかう技術」を培ってきました。
- ・低炭素社会の実現に向けて、自社の強みである再生可能エネルギーへの取り組みに一層注力しています。

再生可能エネルギーの(発電能力)の長期見通し(最大出力 MW)

	2005	2023	2030目標
水力	111	140	141
太陽光等	3	6	13
合計	114	146	154

※黒部川電力(北陸電力株式会社との共同保有)は、発電出力の50%を計上

電源構成比率(2023年度実績)



- 青海工場の紹介
- 環境への取り組み
- **地域貢献活動**

デンカ青海工場では、こども参観日や各種見学会、サッカーフェスティバル、清掃活動、地区向け環境説明会など、様々な地域貢献活動を行っています。



ご清聴ありがとうございました。

